

近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所	配布日時	平成23年 1月26日 14時00分
資 料 配 付		

件 名	国道26号 自転車通行環境整備の工事着手 に併せてご意見を募集します
-----	---------------------------------------

概 要	○国道26号、和歌山市男野芝丁^{おのしばちょう}～西汀丁^{にしみぎわちょう}（L＝350m）の自転車歩行者道内で、2月下旬から、歩行者と自転車の走行空間を分離する工事に着手します。 ○工事の完成に伴い、自転車歩行者道の使い方が変更されるため、工事に先立ち、自転車利用者の皆様や、沿道の皆様に、整備の内容についてご意見を募集します。 ○なお、本工事区間は、平成20年1月17日に警察庁と国土交通省により、自転車通行環境整備モデル地区として指定され、自転車通行環境懇談会の場で整備方針等を検討してまいりました。
-----	--

取扱い	-----
-----	-------

配布場所	和歌山県政記者クラブ 和歌山県地方新聞記者クラブ 和歌山県政放送記者クラブ
------	---

問合せ先	○国土交通省近畿地方整備局和歌山河川国道事務所 副所長 杉若 武（内線 205） 道路管理第二課長 三浦 行雄（内線 441） TEL 073-424-2471（代表）
------	--

国道26号 自転車通行環境整備の工事着手 に併せてご意見を募集します

○ 経緯

平成20年1月

和歌山市内で2地区（和歌山市駅前地区、吹上砂山地区）が自転車通行環境整備モデル地区に指定。【参考1】

平成21年8月～平成22年3月

和歌山県、和歌山市、和歌山県警察本部、和歌山河川国道事務所、学識経験者からなる「和歌山県自転車通行環境懇談会」の場でモデル地区に係わる整備方針を検討。【参考2】

平成22年1月

- ・現況道路の危険箇所を示したヒヤリハットマップを公表。
- ・歩行者と自転車の分離を試みる社会実験、利用者へのアンケートを実施。連続構造物による分離よりも区画線等で走行位置を明示した方がよいという意見が多数。

平成22年3月

モデル地区の道路状況や社会実験での整備に関する問題点等を考慮し、路面標示によって歩行者、自転車の走行空間を明示する整備方針を策定。

○ 工事着手

平成23年2月

国道26号和歌山市男野芝^{おのしばちょう}丁～西汀^{にしみぎわちょう}丁(L=350m)の自転車歩行者道内で、歩行者と自転車の走行空間を分離する工事に着手します。

○ ご意見募集

平成23年1月27日～3月31日

自転車利用者の皆様や、沿道の皆様に、整備の内容についてご意見を募集します。

皆様から頂いたご意見は、今後の整備に反映する予定です。

1. 工事概要

- ・着手時期 : 2月 下旬
- ・工事区間 : 国道26号 和歌山市男野芝丁～西汀丁（自転車歩行者道）
北側 L=250m、南側 L=350m
- ・位置図 :



2. ご意見募集

- ・募集期間 : 1月 27日(木) ～ 3月 31日(木)
- ・募集方法 : 和歌山河川国道事務所 1F 入口付近 8:30～17:00
「自転車通行環境整備のご意見箱」

※ 自由な様式で投函いただけます。

※ また、入口付近に用紙もご用意しております。

和歌山河川国道事務所 ホームページ

「自転車通行環境整備のご意見募集」

<<http://www.kkr.mlit.go.jp/wakayama/>>

3. 国道26号（和歌山市駅前地区）の整備内容

- 自転車歩行者道内で歩行者と自転車の通行位置を区画線で分離。
- 自転車、歩行者の路面標示、分離支柱など設置し、通行位置を明確化。
- 自転車の通行位置には、左側通行を啓発する路面標示を設置。
- バス停部において、自転車利用者に注意を呼びかける注意喚起支柱を設置。



【歩行者・自転車の路面標示】



【注意喚起支柱】



【分離支柱】

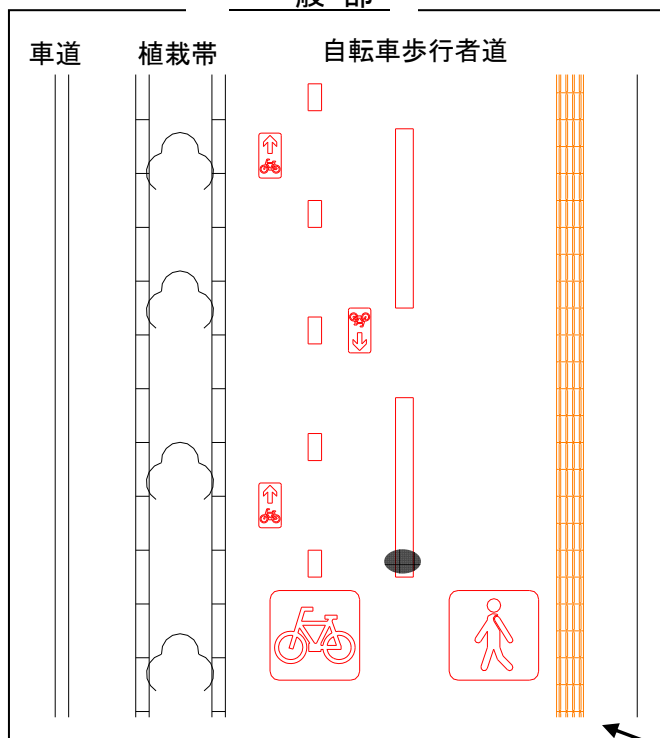
整備（路面標示）のイメージ



■区画線・路面標示による通行位置の明確化

4. 整備内容図面

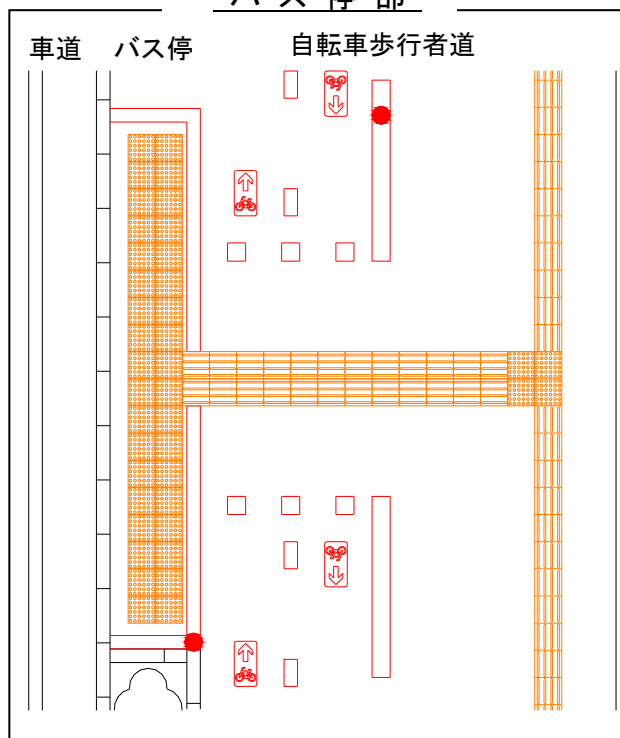
一般部



●：分離支柱設置箇所

●：注意喚起支柱設置箇所

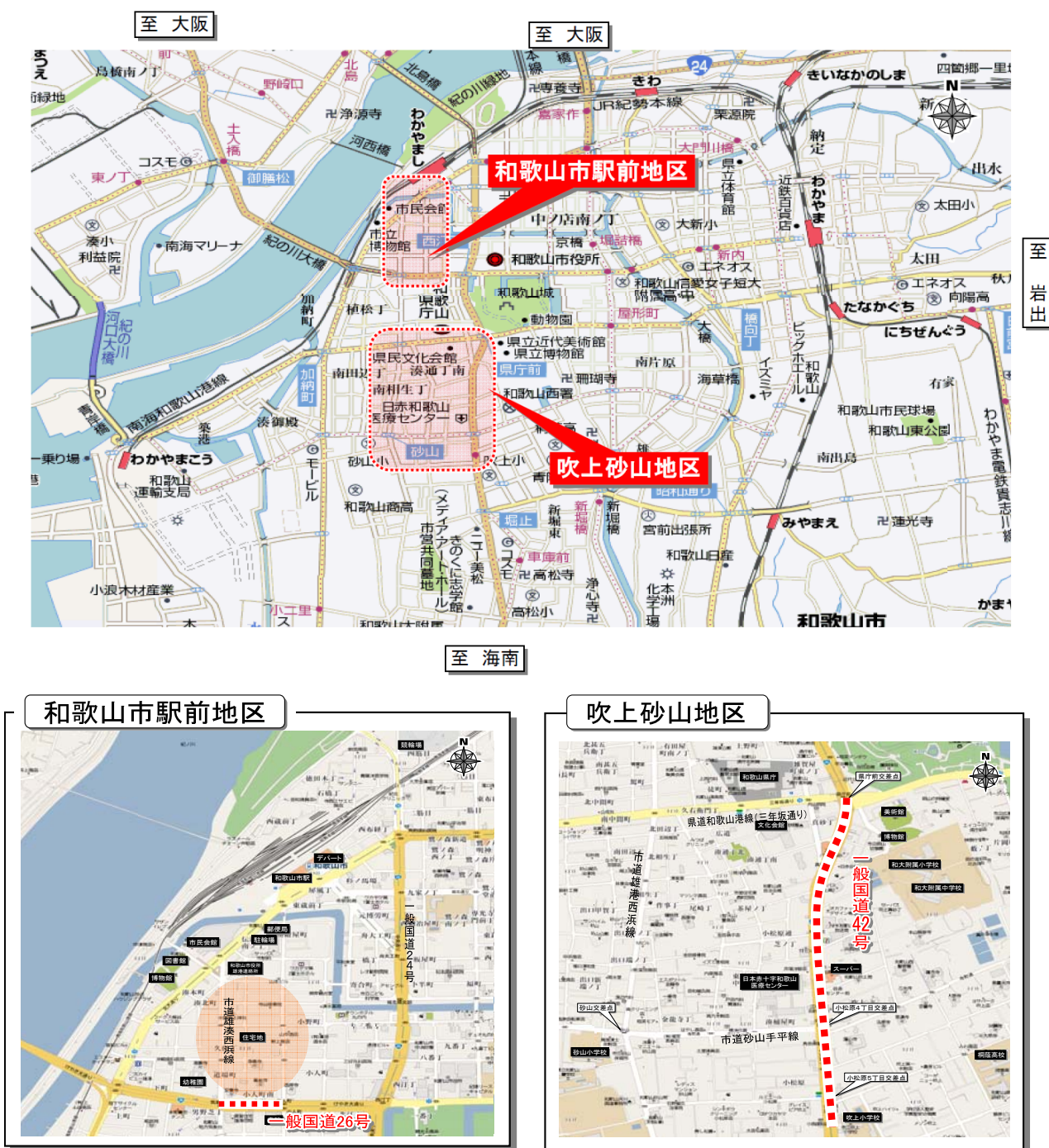
バス停部



視覚障害者誘導ブロック

※計画平面図については、事務所1F もしくは ホームページでもご覧になれます。

■ 自転車通行環境整備モデル地区 位置図



■「自転車通行環境懇談会」

近年、自転車の事故は増加傾向にあり、特に歩行者と自転車の交通事故は、最近の10年間で約4.5倍に増加しています。そこで、自転車・歩行者が安全に安心して通行できる環境に見直していくため、平成20年1月17日に今後の自転車通行環境整備の模範となるモデル地区として、警察庁と国土交通省により、和歌山県内の2地区（和歌山市駅前・吹上砂山地区）が指定されました。

これを受け、和歌山県、和歌山市、和歌山県警察本部、和歌山河川国道事務所で、学識経験者を含めた「和歌山県自転車通行環境懇談会」を設置し、モデル地区における自転車通行環境の整備方針を検討するため、第1回懇談会を平成21年8月4日に開催しました。

8月には、沿道自治会、近隣の中学・高校等にご協力いただき、自転車通行環境に関するアンケート調査を実施しました。

第2回懇談会（平成21年11月9日）では、アンケート調査結果を踏まえ、ヒヤリハットマップ、自転車通行環境モデル地区における歩行者と自転車の分離試行案、自転車通行空間ネットワーク計画等の検討がなされました。

また、歩行者と自転車の分離を試みる社会実験を実施し、結果をとりまとめ、第3回懇談会（平成22年3月）でモデル地区の整備方針を策定しました。

○委員名簿

委員	氏名	所属
座長	畠山 貴晃	和歌山市 副市長
委員	辻本 勝久	和歌山大学経済学部市場環境学科 准教授
委員	吉田 長裕	大阪市立大学大学院工学研究科 講師
委員	尾花 正啓	和歌山県県土整備部 道路局長
委員	中村 富佐夫	和歌山県警察本部交通部 参事官
委員	福岡 彰三	国土交通省近畿地方整備局道路部 道路情報管理官
委員	島村 喜一	国土交通省和歌山河川国道事務所 事務所長